

主な活動の紹介

○ 学校支援の様子

- ・ (小学校) 校外支援…田植・イネ刈体験学習、タケノコ掘り及び料理教室、親子水辺の教室
一位ヶ岳登山道整備作業、イモ植え・収穫体験等
校内支援…高齢者との交流、「子ども歌舞伎」練習、
放課後支援 (放課後子ども教室での放課後支援等)
- ・ (中学校) 校外支援…シャクナゲの花殻摘み体験、職場体験学習、野菜等即売
スポーツ交流(ソフトボールほか)、閉校記念登山
校内支援…農園の手入れ、高齢者との交流、「子ども歌舞伎」練習、
地域講師の講演等
- ・ (小学校・中学校) 温泉祭り・文化産業祭(「子ども歌舞伎」実演)、秋葉祭(相撲大会)
- ・ (幼稚園・小学校・中学校) 幼稚園・小学校低学年・中学校とのイモ掘り体験交流
幼・小・中・地域合同体育祭



田植え体験学習



タケノコ料理体験交流



閉校記念登山



高齢者とのスポーツ交流



歌舞伎公演(温泉祭)



秋葉祭(相撲大会)



地域合同体育祭



小学校長による出前講座

成果と課題

平成 23 年 5 月、俵山小学校と俵山中学校は、地域・保護者が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」の指定を受けました。また、公民館を中心とした学校・家庭・地域の連携による「俵山地域協育ネット」の推進により、地域で子どもを育てる市民協働の教育支援体制が確立されました。

現在、様々な形で学校との連携による支援が行われていますが、更に学校の要望に応えるため地域にある人的資源を生かすことができる「人材バンク」を整備しました。子どもが減少し、地域の高齢化が進む中、今後も特色ある取組を推進していくためには「人材バンク」を更に充実させ、一人でも多くの地域の方に、教育支援等に協力していただける体制づくりが必要であると感じています。

しかしながら、俵山中学校が今年度をもって深川中学校に統合されることから、これまで中学生が大きな役割を担ってきた、合同体育祭や文化産業祭の開催方法等の見直しを余儀なくされています。

今後の取組

強固な「地域協育ネット」体制の中、地域と学校が良好な関係で様々な取組が展開されてきましたが、中学校の統廃合により中学校区に二つの公民館が存在することで、公民館同士の連携の重要性を認識し、情報交換等による学校・地域・公民館が互いの情報を共有することが重要です。

そのため、学校及び公民館だより等の情報媒体を活用して、地域の皆さんに子どもたちの情報を伝達することにより、地域ぐるみで子どもを育てる取組をさらに深めていきたいと考えています。